



## 令和4年度入学式 過去最少の入学者数

4月7日、馬頭高校で入学式が挙行され、普通科29名、水産科11名が入学しました。定員に対する充足率はそれぞれ36%と44%で、入学者数は過去最少になりました。

式は、国歌、入学許可、校長式辞、来賓祝辞と続き、新入生代表誓いの言葉は、普通科の滝田鈴夏さんが述べました。校歌は残念ながら歌うことができず、CDの校歌「静聴」となりました。

## 高校再編計画について

さて、本校は第二期県立高校再編計画により、平成30年度から適正規模を下回る3学級特例校として、学校運営協議会を設置したコミュニティスクールになっています。このようななか、今般、県立学校の在り方検討会議は『県立高校の在り方検討会議 提言』～とちぎの未来を切り拓く人材の育成を目指して～（令和4年2月）を公表しました。提言には、特例校は「一定の役割を果たしており、今後も継続すべきである」としながらも、「将来的な統合もやむを得ないと考えられる」と記載されています。

また、2学級特例校は（現在は日光明峰高のみ）、「2学級での生徒募集開始から3年目以降、入学者が2年連続して募集定員の3分の2未満となった場合には、地元地域とも十分に協議し、原則として、統合などを行い募集を停止します」（第二期計画）とされています。本校は、今後も入学者数が少ない場合は、2学級特例校になることも危惧されます。

今年度は、町等との連携により「高校魅力化プロジェクト」の活用による学校の魅力化・特色化について検討を行う予定です。引き続き馬頭高校へのご支援をお願いします。



新入生代表誓いの言葉



担任紹介